

# 「高校生 ICT Conference 2017 in 石川」を開催

## 高校生が考える心豊かな生活 - ICT×(家族・学校・地域) -

総務省は、平成29年9月23日(土)、金沢市内の石川県教育会館において、安心ネットづくり促進協議会(会長 新美 育文)、大阪私学教育情報化研究会(会長 井藤 真由美(関西学院千里国際中等部・高等部 校長))、一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構(代表理事 新美 育文)及び、一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会(代表理事 安田 浩)とともに、高校生によるワークショップ「高校生 ICT Conference 2017 in 石川」を開催し、石川県内の6校から生徒18人が参加しました。

本行事は、身近なスマートフォンやインターネットをテーマに、高校生自身が情報モラルについて深く考え意見を発表し、将来のよりよいインターネット利用環境構築の一助とするものです。

高校生 ICTカンファレンス実行委員会の米田 謙三委員長の司会により開始され、第一部では、浅野 秀重氏(いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会座長(金沢大学地域連携推進センター 教授))が「情報化社会の中の私たちの『学び』」と題して、飛永 繁樹氏(石川県警察本部 生活環境課 サイバー犯罪対策係長 警部補)が「ネットトラブルの事例をもとに予防と対策を考える」と題して講演しました。

第二部では、高校生による熟議として、参加者を4グループに編成し、金沢工業大学の大学生をファシリテーターとして、「高校生が考える心豊かな生活 - ICT×(家族・学校・地域)」をテーマに各グループで議論を行いました。その後のグループ発表では、1班は「スマホを使った授業がしたい」等の国への提言、2班は「学校での出席管理にICTを活用できないか」、3班は「嗅覚情報は、香りのサンプルをAIにより調査することで再現可能」、4班は「数あるICTのコミュニティについて、信頼性を判別できるアプリが必要」などの討議結果が発表されました。



議論を行う高校生グループ



各グループからの発表

また、11月3日(金)に東京で開催される「高校生 ICT Conference 2017 サミット」※に、厳正な選考の結果、石川県立金沢伏見高等学校が石川県代表として参加することが決まりました。

※ 高校生 ICT Conference 2017 サミットのホームページ  
<http://www.good-net.jp/ict-conference/2017/001113.html>

最後に、いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会の浅野 秀重座長が、各グループの発表について講評するとともに、高校生の皆さんに伝えたいこととして、「デジタルには功罪がある。メールで一斉送信できるなど便利な面があるが、向き合って話すなどアナログの部分も重視しながら、学びを進めていってほしい。これからの社会の主体者として、自ら考え、判断し、行動できる若者として巣立ってほしい。」とのメッセージがあり、「高校生 ICT Conference 2017 in 石川」を締めくくりました。



講評する浅野座長